

全日本空輸株式会社 2012年3月期 決算説明会

代表取締役社長
伊東 信一郎

常務取締役
殿元 清司

2012年4月27日



目次

【第1部】

I. 2012年3月期決算、及び

2013年3月期業績予想

2012年3月期 決算概要	P.4-5
2013年3月期 業績予想	P.6
Peach就航(2012年3月実績)	P.7
国際線ジョイントベンチャー	P.8
2012年度 経営テーマ	P.9

【第2部】

II. 2012年3月期決算《詳細》

業績ハイライト	P.11
連結決算概要(経営成績)	P.12
連結決算概要(財政状態)	P.13
連結決算概要(キャッシュフロー)	P.14
連結決算概要(セグメント別実績)	P.15
航空運送事業(収入・費用)	P.17
航空運送事業(営業利益増減要因)	P.18
航空運送事業(国内旅客事業)	P.19-20
航空運送事業(国際旅客事業)	P.21-22
航空運送事業(国内・国際貨物事業)	P.23-26

III. 2013年3月期 通期業績予想《詳細》

連結業績予想	P.28
セグメント別業績予想	P.29
航空運送事業(収入・費用予想)	P.31
航空運送事業(営業利益増減要因)	P.32
業績予想の前提値(旅客・貨物事業)	P.33-34
連結バランスシート(計画)	P.35
連結キャッシュフロー(計画)	P.36

IV. 補足資料

燃油・為替	P.39
主要為替変動の収支影響	P.40
国際旅客 方面別実績	P.41
国際貨物 方面別実績	P.42
運用航空機数	P.43

I . 2012年3月期決算、及び 2013年3月期業績予想



【第1部】

2012年3月期 決算概要

▶ 震災影響を収支改善策によって克服し増収増益、過去最高の営業利益と増配達成

《2012年3月期 (2011年度) 通期連結決算》 (単位: 億円)

	通期	前年差	1/31修正 予想差異
営業収入	14,115	+538	+115
航空運送事業	12,625	+442	▲34
営業利益	970	+292	+70
航空運送事業	884	+279	+44
経常利益	684	+314	+124
当期純利益	281	+48	+81
1株あたり配当 (円)	4円	+2円	+2円

《2011年度決算のポイント》

→ 震災による減収影響 (4月~2月まで)

国内線旅客 ▲500億円

国際線旅客 ▲150億円

→ 主なコスト対策

緊急対策 ▲300億円

コスト構造改革前倒し ▲110億円

(前回想定▲80億円)

過去最高の
営業利益計上

営業利益
970億円

→ 震災影響により、計画対比での大幅な減収にもかかわらず、緊急対策ならびにコスト構造改革の前倒しによって増収増益を実現

当初計画以上の
当期利益と配当額

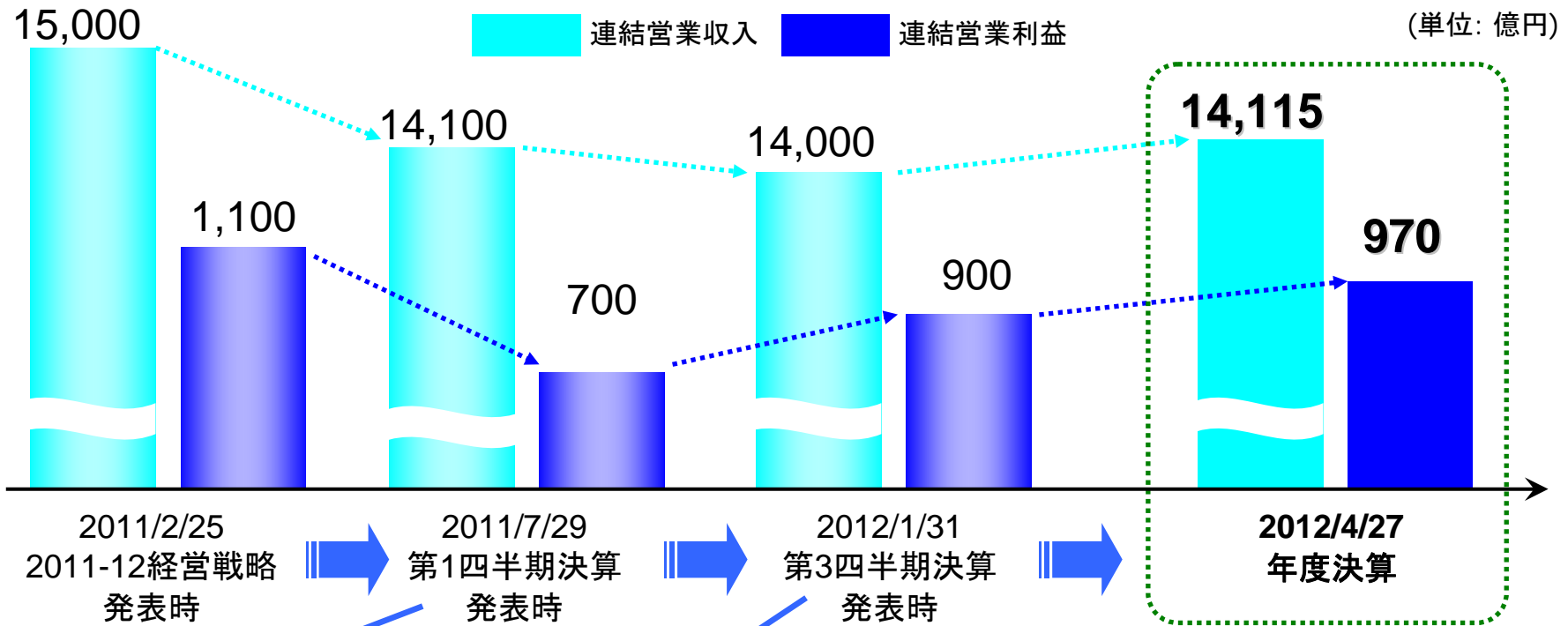
1株配当額
4円

→ 法人税率改正に伴う繰延税金資産の取り崩し影響も増益で吸収
→ 財務体質の強化と合わせて同時に株主還元の実現

2012年3月期 決算概要

➤ 不断のコスト削減策により、震災前当初計画からの減収、減益を最小限にとどめる

《2011年度業績予想の推移と最終決算》



【主な修正内容】

- ✓ 震災による減収想定
- ✓ 緊急対策を含むコスト削減

【主な修正内容】

- ✓ 更なるコスト削減の進捗
(コスト構造改革の前倒し実施
80億円を含む)

【主な決算上方修正要因】

- ✓ コスト構造改革の前倒し
110億円に拡大

2013年3月期 業績予想

➤ 国際線を中心とした増収とコスト構造改革推進により、過去最高営業利益の更新へ

《2013年3月期 (2012年度)業績予想》 (単位: 億円)

	通期	前年差
営業収入	15,000	+884
航空運送事業	13,720	+1,094
営業利益	1,100	+129
航空運送事業	1,020	+135
営業利益率	7.3%	+0.5%
当期純利益	400	+118
EBITDA	2,520	+357
自己資本比率 (%)	28.4	+0.9
DEレシオ (倍)	1.6	▲0.1
1株あたり配当 (円)	4円	-

《2012年度業績予想のポイント》

→ 震災影響解消と生産量拡大による増収

国内線旅客 提供座席キロ +4.1%
増収額 +435億円

国際線旅客 提供座席キロ +11.9%
増収額 +500億円

→ 1,000億円コスト構造改革
(ユニットコスト1円削減対策)

単年度効果 ▲190億円
(累計効果 ▲300億円)

利益目標と
配当予定

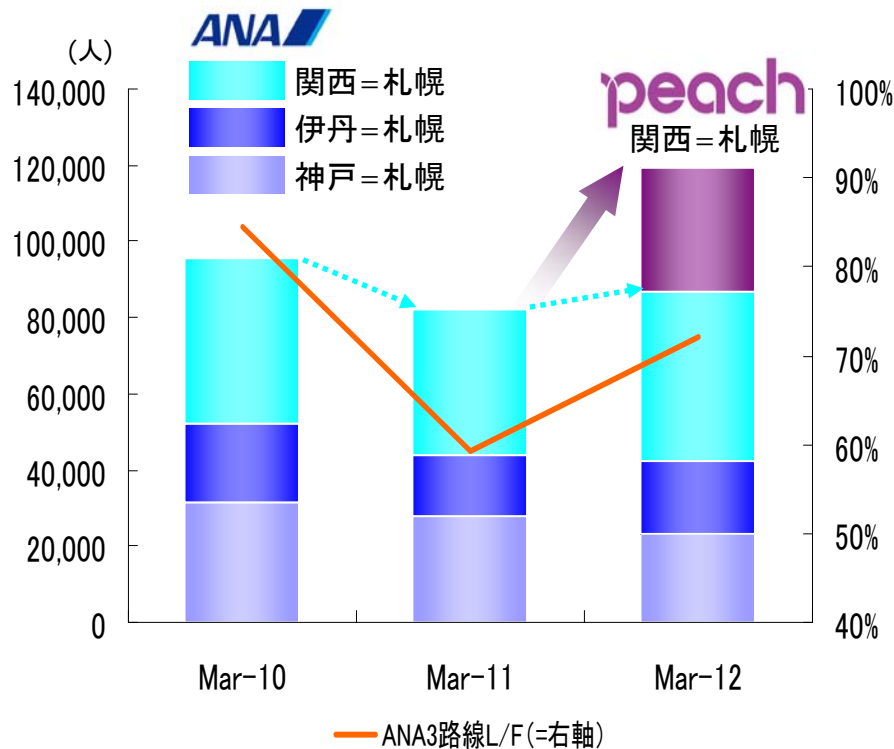
→ 営業利益の過去最高額更新を目指し、1,100億円を計画
→ 当期純利益400億円を確保し、4円配当を計画

Peach就航(2012年3月実績)

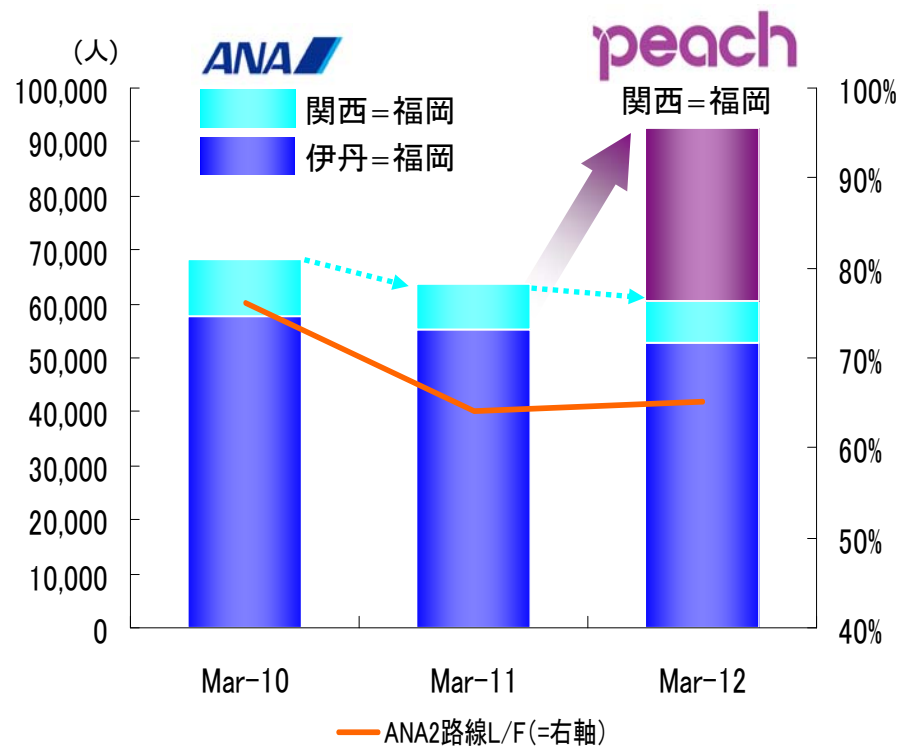
➤ 新規需要の創出、既存需要への積み上げを実現し、順調なスタート

【運航路線】 3月 1日～ 関西=札幌(1日3往復) / 関西=福岡(1日4往復)
 3月 25日～ 関西=長崎(1日2往復)
 【3月旅客実績】 旅客数(3路線計) 67千名 座席利用率 83%

《関西/伊丹/神戸=札幌》 3月旅客実績



《関西/伊丹=福岡》 3月旅客実績



国際線ジョイントベンチャー

➤ ジョイントベンチャーの推進により、アジア=北米、日本=欧州の旅客流動をつかむ

LHNN JV

- ➔ 2012年度よりスタート
(2012年4月～JV共通運賃)
- ➔ 欧州内127地点への乗継可能

Transpacific JV

- ➔ アジアと北米を結ぶネットワークを強化
(2012年度は成田=シアトル・成田=サンノゼに就航予定)
- ➔ パートナー相互間の販売が大幅に増加、堅調な路線実績に貢献

《対象路線》



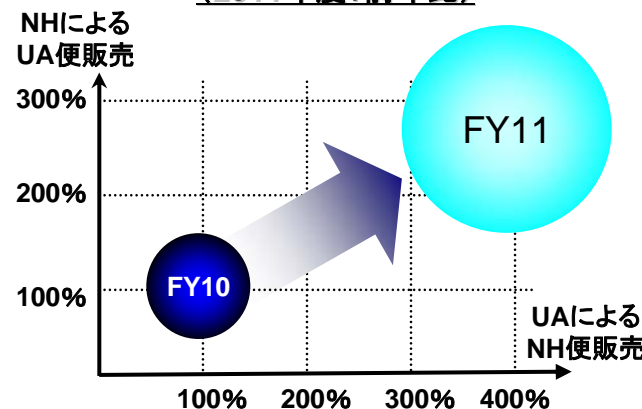
成田=フランクフルト/ミュンヘン
ロンドン/パリ
羽田=フランクフルト
(2012年1月就航)



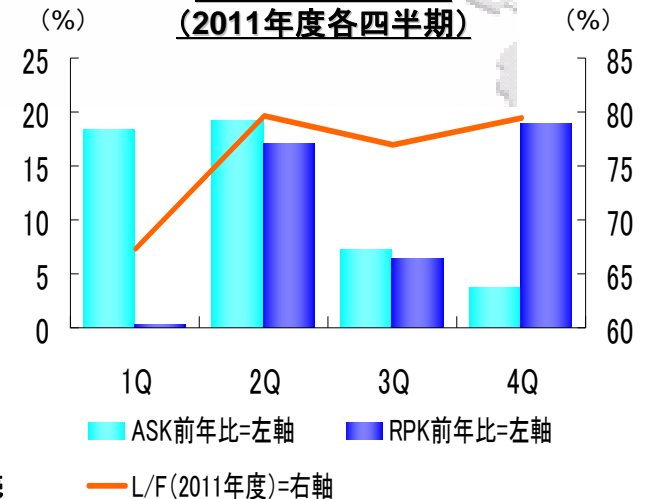
フランクフルト=成田/関西/中部
ミュンヘン=成田
デュッセルドルフ=成田
(就航時期未定)



NH/UAコードシェア便 相互販売席数
(2011年度:前年比)



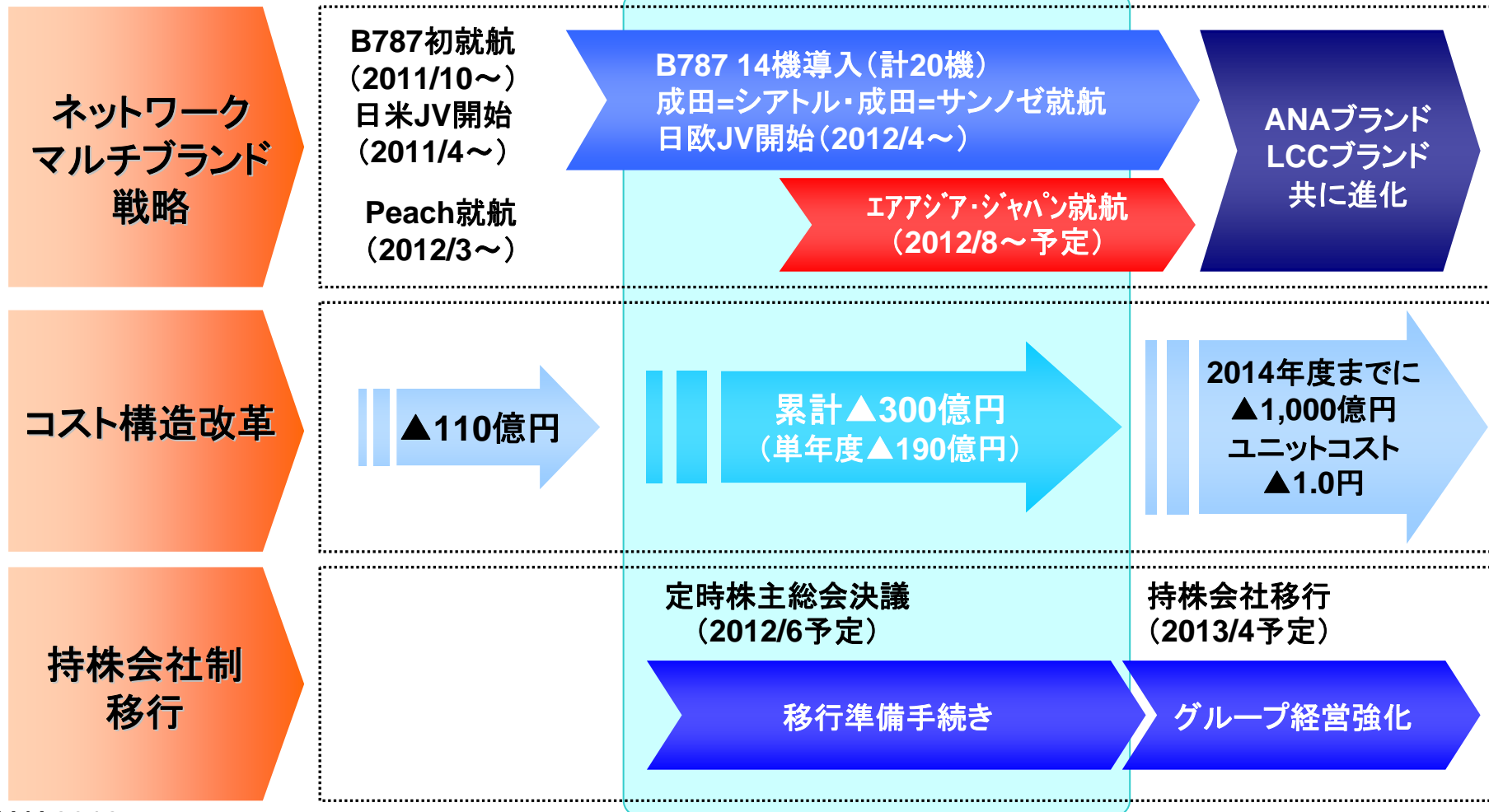
当社北米路線実績
(2011年度各四半期)



2012年度 経営テーマ

➤ 2012-13年度経営戦略における単年度テーマを着実に遂行し、経営基盤を強化

《2012年度経営テーマ》



Ⅱ. 2012年3月期決算《詳細》

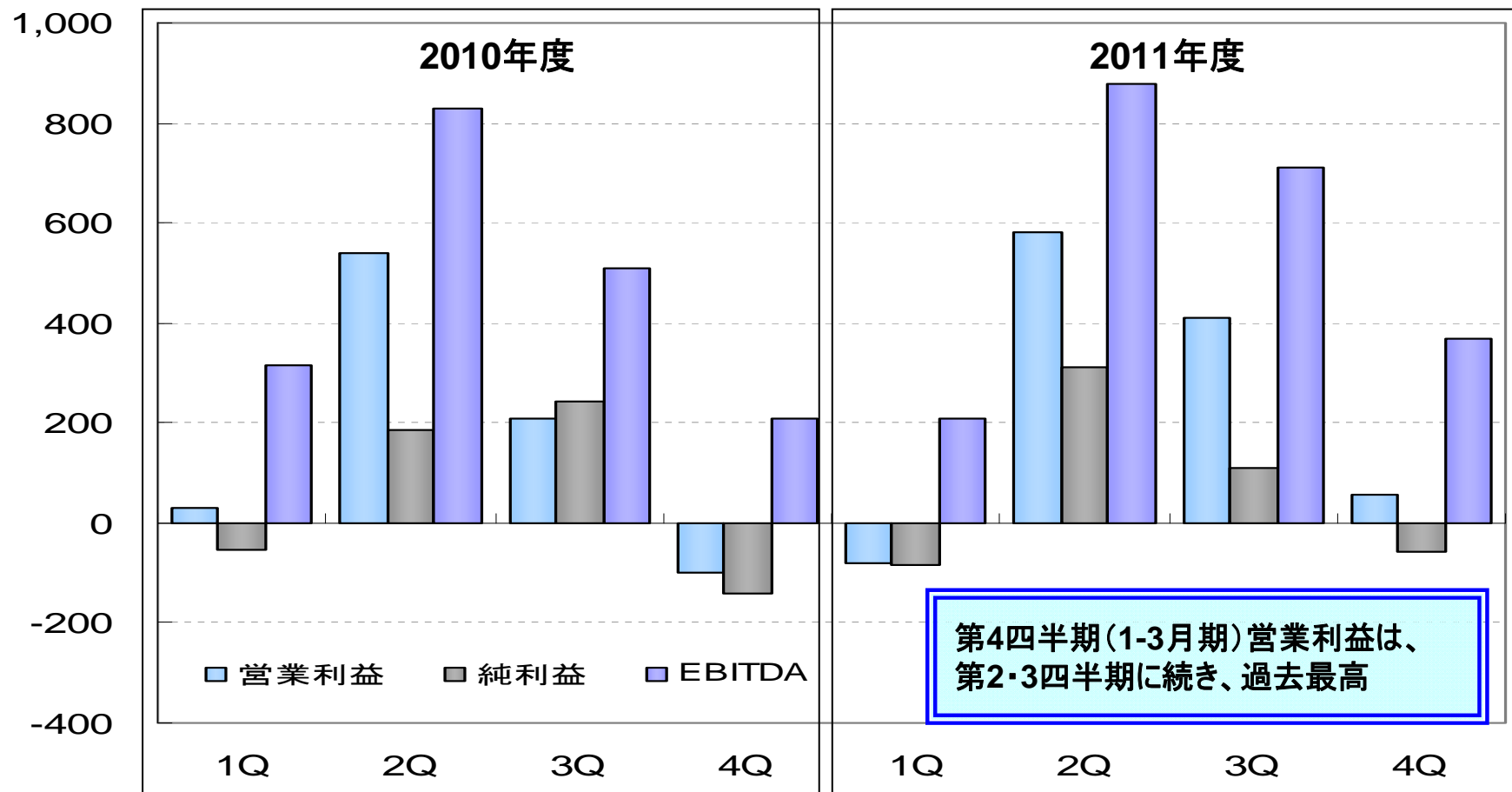


【第2部】

業績ハイライト

当年度並びに前年度 各四半期の業績比較

- ▶ 年度累計の連結営業利益は、970億円(前年同期比で +292億円)となりました。
- ▶ 当期純利益は、281億円(同 +48億円)、EBITDAは 2,162億円(同 +300億円)を計上しました。



連結決算概要

経営成績

	2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年差 Difference	第4四半期 4Q/FY11	前年差 Difference
営業収入 Operating Revenues	13,576	14,115	+ 538	3,416	+ 231
営業費用 Operating Expenses	12,898	13,144	+ 246	3,357	+ 73
営業利益 Operating Income	678	970	+ 292	58	+ 157
営業利益率 Op. Margin (%)	5.0	6.9	+ 1.9	1.7	-
営業外損益 Non-Op. Gains/Losses	△ 307	△ 285	+ 22	△ 88	+ 25
経常利益 Recurring Income	370	684	+ 314	△ 30	+ 183
特別損益 Extraordinary Gains/Losses	△ 19	△ 50	△ 30	△ 54	△ 9
当期純利益 Net Income	233	281	+ 48	△ 56	+ 86
少数株主損益調整前当期純利益 Net Income Before Minority Interests	230	281	+ 51	△ 58	+ 88
その他包括利益 Other Comprehensive Income	153	49	△ 104	259	△ 21
包括利益 Comprehensive Income	383	331	△ 52	200	+ 66

単位：億円 (¥100Million)

連結決算概要

財政状態

	前期末 Mar 31, 2011	2012年3月末 Mar 31, 2012	前年差 Difference
総資産 Assets	19,280	20,025	+ 745
自己資本 Shareholders' Equity	5,202	5,490	+ 287
自己資本比率 Ratio of Shareholders' Equity (%)	27.0	27.4	+ 0.4
有利子負債残高 Interest Bearing Debts	9,388	9,636	+ 248
D/Eレシオ(倍) Debt/Equity Ratio (times)	1.8	1.8	△ 0.0

単位: 億円 (¥100Million)

注記: オフバランスリース債務額1,553億円(前年度末1,702億円)を含むD/Eレシオは2.0倍(前年度末2.1倍)となります。

連結決算概要

キャッシュフロー

	2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年差 Difference
営業キャッシュフロー Cash Flow from Operating Activities	2,038	2,144	+ 105
投資キャッシュフロー Cash Flow from Investing Activities	△ 1,396	△ 1,663	△ 267
財務キャッシュフロー Cash Flow from Financing Activities	△ 105	161	+ 267
現金及び現金同等物の増減額 Net Increase or Decrease	534	642	+ 108
現金及び現金同等物の期首残高 Cash and Cash Equivalent at the beginning	1,481	2,016	+ 642
現金及び現金同等物の期末残高 Cash and Cash Equivalent at the end	2,016	2,658	
減価償却費 Depreciation and Amortization	1,184	1,192	+ 8
設備投資額(固定資産のみ) Capital Expenditures	2,116	1,968	△ 148
EBITDA (*)	1,862	2,162	+ 300
EBITDAマージン EBITDA Margin(%)	13.7	15.3	+ 1.6

* EBITDA: 営業利益+減価償却費

単位: 億円 (¥100Million)

連結決算概要

セグメント別実績

		2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年差 Difference	第4四半期 4Q/FY11	前年差 Difference
売上高 Revenues	航空運送事業 Air Transportation	12,182	12,625	+ 442	3,050	+ 174
	旅行事業 Travel Services	1,593	1,589	△ 4	395	+ 50
	報告セグメント計 Total for Reporting Segments	13,776	14,215	+ 438	3,445	+ 224
	その他 Other	1,389	1,384	△ 5	348	+ 3
	調整額 Adjustment	△ 1,589	△ 1,484	+ 105	△ 376	+ 3
	合計(連結) Total	13,576	14,115	+ 538	3,416	+ 231
営業利益 Operating Income	航空運送事業 Air Transportation	605	884	+ 279	49	+ 146
	旅行事業 Travel Services	26	39	+ 12	1	+ 8
	報告セグメント計 Total for Reporting Segments	631	924	+ 292	50	+ 154
	その他 Other	48	41	△ 6	6	△ 1
	調整額 Adjustment	△ 1	4	+ 6	1	+ 5
	合計(連結) Total	678	970	+ 292	58	+ 157

単位: 億円 (¥100Million)

Intentionally Blank

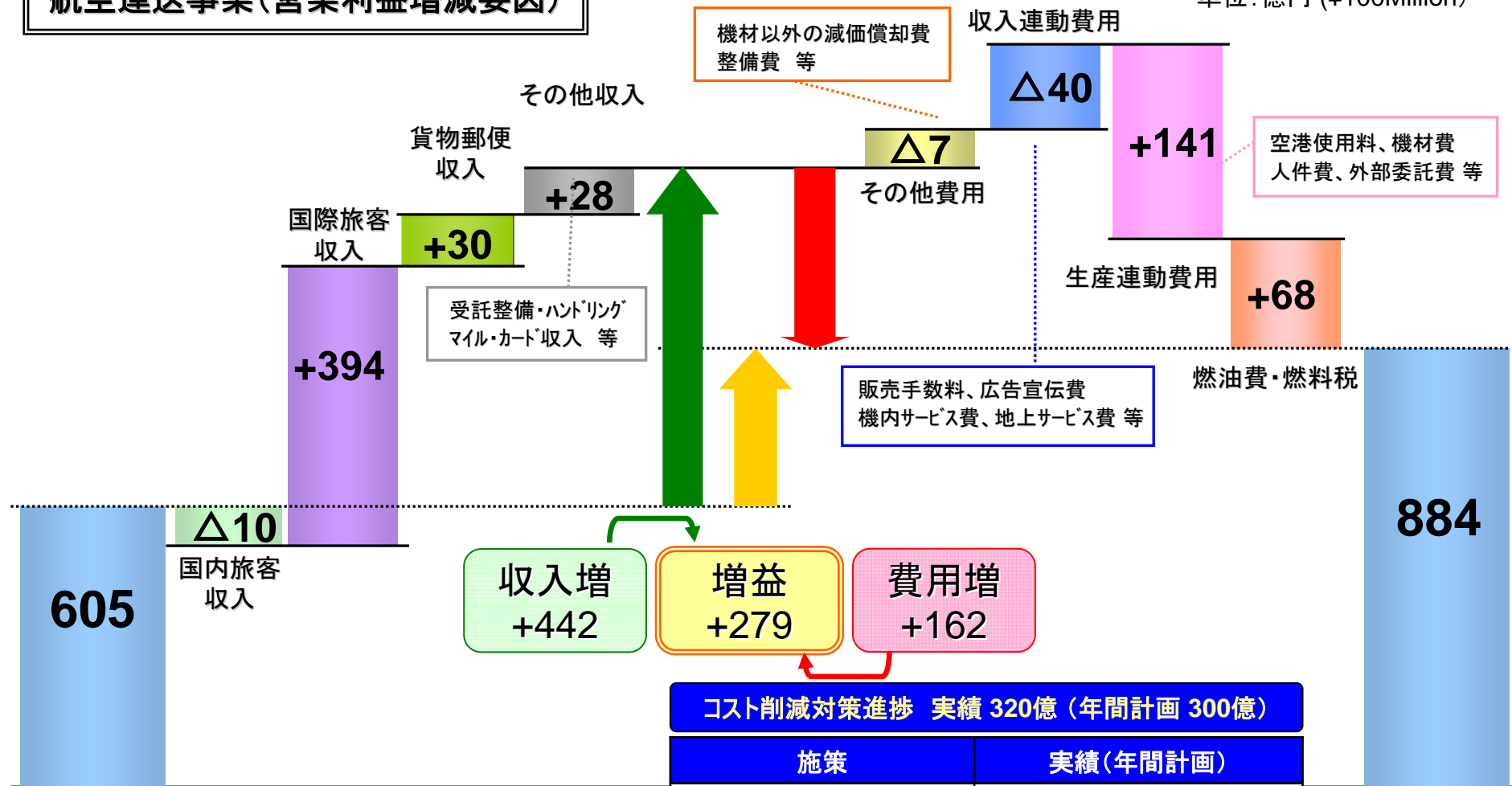
航空運送事業

収入・費用		2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年差 Difference	第4四半期 4Q/FY11	前年差 Difference
営業収入 Operating Revenues	国内線旅客 Domestic Passengers	6,526	6,515	△ 10	1,542	+ 46
	国際線旅客 International Passengers	2,806	3,200	+ 394	781	+ 125
	貨物郵便 Cargo and Mail	1,250	1,280	+ 30	302	△ 1
	その他 Others	1,599	1,628	+ 28	423	+ 4
	合計 Total	12,182	12,625	+ 442	3,050	+ 174
営業費用 Operating Expenses	燃油費及び、燃料税 Fuel and Fuel Tax	2,562	2,631	+ 68	647	+ 3
	空港使用料 Landing and Navigation Fees	938	945	+ 6	236	+ 1
	航空機材賃借費 Aircraft Leasing Fees	639	671	+ 31	172	+ 15
	減価償却費 Depreciation and Amortization	1,162	1,172	+ 9	304	+ 1
	整備部品・外注費 Aircraft Maintenance	462	457	△ 5	124	△ 9
	人件費 Personnel	2,433	2,510	+ 77	673	+ 36
	販売費 Sales Commission and Promotion	670	635	△ 35	158	△ 7
	外部委託費 Contracts	838	863	+ 25	215	+ 1
	その他 Others	1,868	1,853	△ 15	468	△ 15
	合計 Total	11,577	11,740	+ 162	3,000	+ 28
営業利益	営業利益 Operating Income	605	884	+ 279	49	+ 146

航空運送事業

航空運送事業(営業利益増減要因)

単位: 億円 (¥100Million)



FY10
営業利益

FY11
営業利益



航空運送事業

国内旅客事業(実績)

	2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY11	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万) Available Seat Km (million)	56,796	56,756	△ 0.1	14,036	+ 0.2
旅客キロ(百万) Revenue Passenger Km (million)	35,983	34,589	△ 3.9	8,421	+ 4.8
旅客数(千人) Passengers (thousands)	40,574	39,020	△ 3.8	9,467	+ 4.9
座席利用率(%) Load Factor (%)	63.4	60.9	△ 2.4*	60.0	+ 2.6*
旅客収入(億円) Passenger Revenues (¥100million)	6,526	6,515	△ 0.2	1,542	+ 3.1
ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ASK)	11.5	11.5	△ 0.1	11.0	+ 2.9
イールド(円) Yield (¥/RPK)	18.1	18.8	+ 3.9	18.3	△ 1.6
単価(円) Unit Price (¥/Passenger)	16,084	16,698	+ 3.8	16,294	△ 1.7

*座席利用率のみ前年差

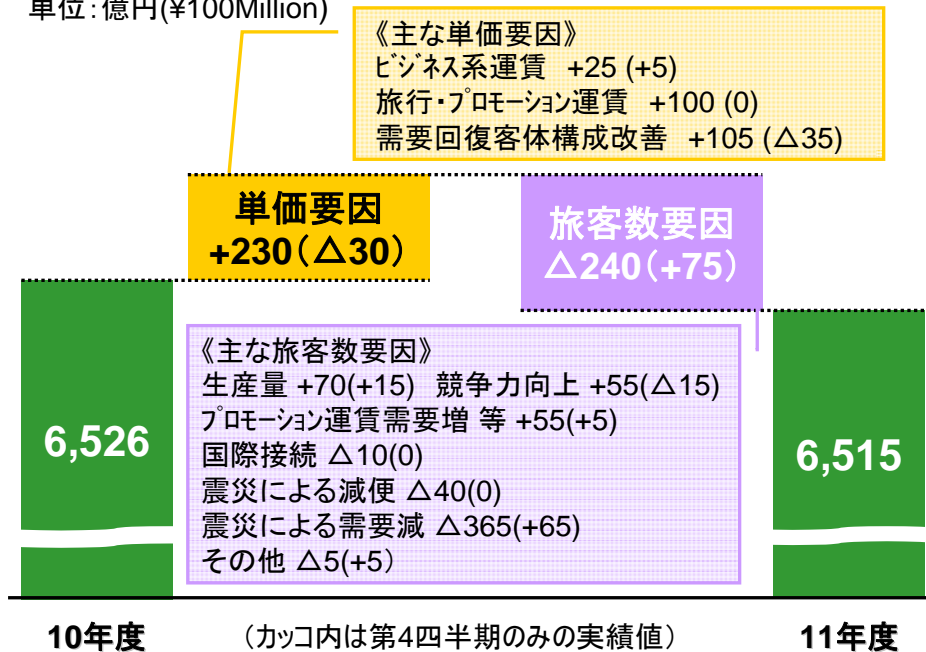
航空運送事業

国内旅客事業(事業動向)

2011年度 収入増減要因

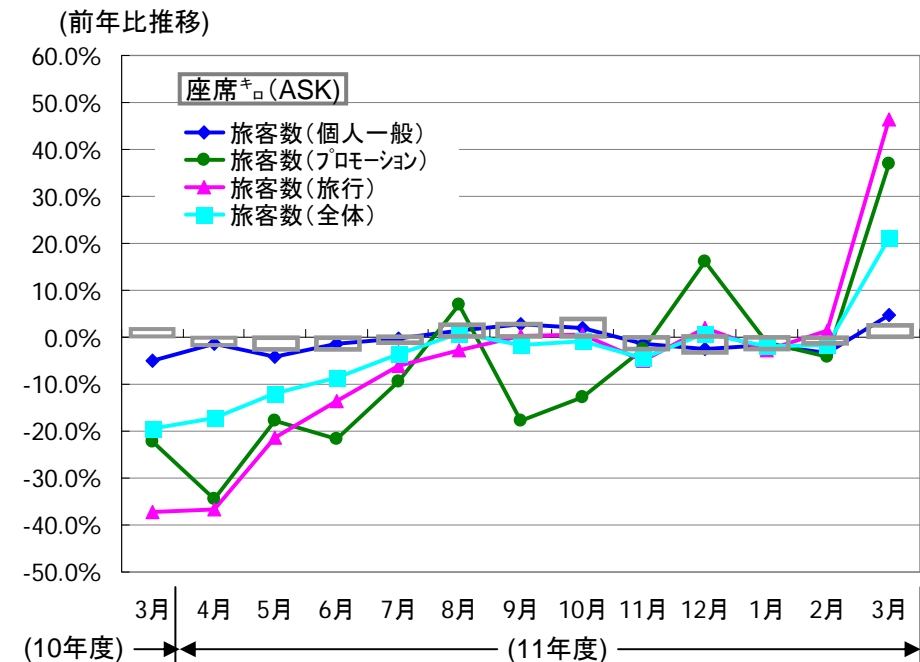
✓ 震災による影響で大幅減となる一方、客体構成の変更及び単価向上により、減少幅を極小化

単位: 億円(¥100Million)



月次 国内線 旅客推移

✓ 個人旅客に加え、プロモーション・旅行旅客も前年並み水準で推移し、3月は1年前の震災による落ち込み幅と同水準回復



当四半期 トピックス:

- 1月23日～ B787国内線定期便投入拡大 東京(羽田)＝伊丹、山口宇部線 (12月27日付 リリース)
- 3月1日～ B787国内線定期便投入拡大 東京(羽田)＝松山線 (12月27日付 リリース)

航空運送事業

国際旅客事業(実績)

	2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY11	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万) Available Seat Km (million)	29,768	34,406	+ 15.6	8,862	+ 9.7
旅客キロ(百万) Revenue Passenger Km (million)	22,430	25,351	+ 13.0	6,757	+ 21.8
旅客数(千人) Passengers (thousands)	5,168	5,883	+ 13.8	1,554	+ 23.2
座席利用率(%) Load Factor (%)	75.3	73.7	△ 1.7*	76.2	+ 7.6*
旅客収入(億円) Passenger Revenues (¥100million)	2,806	3,200	+ 14.0	781	+ 19.1
ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ASK)	9.4	9.3	△ 1.3	8.8	+ 8.6
イールド(円) Yield (¥/RPK)	12.5	12.6	+ 0.9	11.6	△ 2.3
単価(円) Unit Price (¥/Passenger)	54,296	54,403	+ 0.2	50,269	△ 3.3

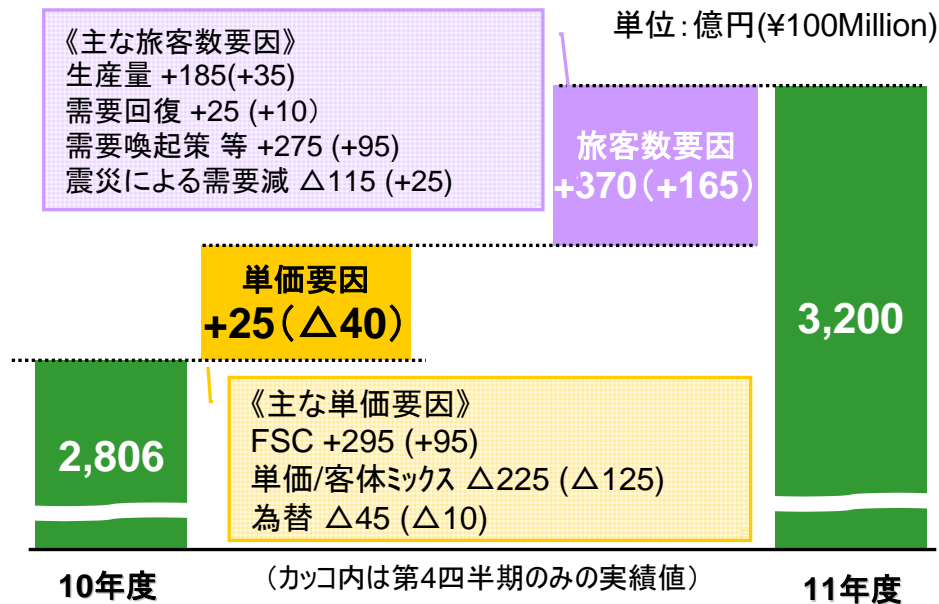
*座席利用率のみ前年差

航空運送事業

国際旅客事業(事業動向)

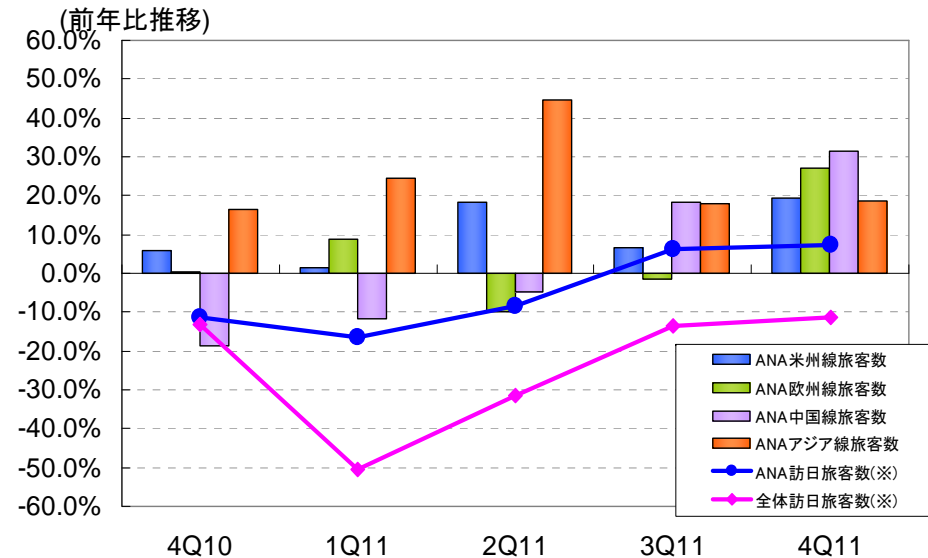
2011年度 収入増減要因

✓単価水準を適正にコントロールし、更に生産量拡大や座席コントロールにより大幅増収



四半期別 国際線 訪日旅客／方面別旅客推移

✓訪日旅客数は、下期からは前年比プラスに転じ、回復基調
 ✓方面別旅客も、第4四半期で全てのエリアが前年を超過



(*) JNTOデータ
 (※) ANA訪日旅客数及び全体訪日旅客数の4Q11は、1~2月の2ヶ月間実績

当四半期 トピックス:

- 1月20日～ 成田＝杭州線 デイリー運航開始 (12月20日付 リリース)
- 3月25日～ ANA・ニュージーランド航空 成田／大阪(関西)＝オークランド線 コードシェア開始 (12月15日付 リリース)
- 3月25日～ 名古屋(中部)＝上海(浦東)線 運航再開 (1月10日付 リリース)

航空運送事業

国内貨物事業(実績)		2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY11	前年比 % Y/Y
国内貨物 Domestic Cargo	有効貨物トンキロ (百万トンキロ) Available Ton Km (million)	1,861	1,805	△ 3.0	451	△ 0.7
	有償貨物トンキロ (百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	450	464	+ 3.1	108	+ 1.8
	貨物輸送重量 (千トン) Revenue Ton (thousand tons)	453	467	+ 3.0	109	+ 1.6
	貨物重量利用率 (%) Load Factor (%)	24.2	25.7	+ 1.5*	24.0	+ 0.6*
	貨物収入 (億円) Cargo Revenues (¥100mil)	324	332	+ 2.6	77	△ 0.8
	ユニットレベニュー (円) Unit Revenue (¥/ATK)	17.4	18.4	+ 5.7	17.2	△ 0.1
	重量あたり単価 (円/kg) Unit Price (¥/kg)	71	71	△ 0.4	71	△ 2.3
【参考: 上記内数】 国内フレイター Domestic Freighter	有効貨物トンキロ (百万トンキロ) Available Ton Km (million)	36	29	△ 17.0	7	△ 1.0
	有償貨物トンキロ (百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	12	10	△ 13.5	2	△ 21.4
	貨物輸送重量 (千トン) Revenue Ton (thousand tons)	11	10	△ 12.9	2	△ 21.7
	貨物重量利用率 (%) Load Factor (%)	34.3	35.8	+ 1.4*	31.2	△ 8.1*
	貨物収入 (億円) Cargo Revenues (¥100mil)	16	13	△ 15.3	3	△ 15.7
	ユニットレベニュー (円) Unit Revenue (¥/ATK)	44.9	45.9	+ 2.1	41.5	△ 14.9
	重量あたり単価 (円/kg) Unit Price (¥/kg)	137	134	△ 2.7	145	7.6

Intentionally Blank

航空運送事業

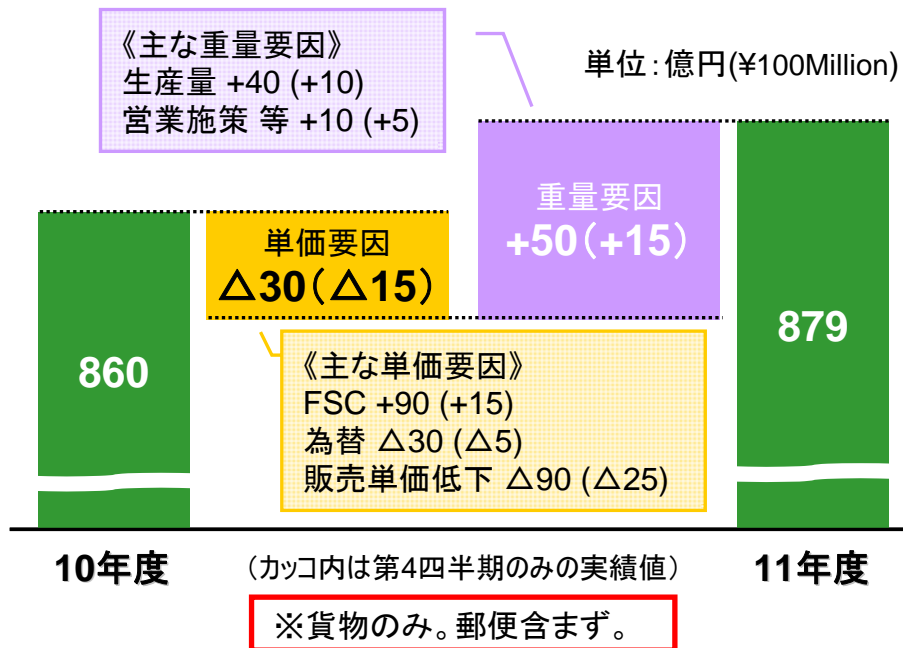
国際貨物事業(実績)		2010年度 FY10	2011年度 FY11	前年比 % Y/Y	第4四半期 4Q/FY11	前年比 % Y/Y
国際貨物 International Cargo	有効貨物トンキロ (百万トンキロ) Available Ton Km (million)	3,059	3,637	+ 18.9	912	+ 14.4
	有償貨物トンキロ (百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	2,069	2,239	+ 8.2	578	+ 13.5
	貨物輸送重量 (千トン) Revenue Ton (thousand tons)	557	570	+ 2.4	141	+ 7.4
	貨物重量利用率 (%) Load Factor (%)	67.6	61.6	△ 6.1*	63.4	△ 0.6*
	貨物収入 (億円) Cargo Revenues (¥100mil)	860	879	+ 2.2	208	△ 0.8
	ユニットレベニュー (円) Unit Revenue (¥/ATK)	28.1	24.2	△ 14.0	22.9	△ 13.3
	重量あたり単価 (円/kg) Unit Price (¥/kg)	154	154	△ 0.1	147	△ 7.6
【参考: 上記内数】 国際フレイター International Freighter	有効貨物トンキロ (百万トンキロ) Available Ton Km (million)	780	829	+ 6.3	200	+ 3.3
	有償貨物トンキロ (百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	492	497	+ 1.1	121	+ 6.1
	貨物輸送重量 (千トン) Revenue Ton (thousand tons)	289	279	△ 3.4	66	△ 0.4
	貨物重量利用率 (%) Load Factor (%)	63.1	60.0	△ 3.1*	60.5	+ 1.6*
	貨物収入 (億円) Cargo Revenues (¥100mil)	328	332	+ 1.4	76	△ 8.1
	ユニットレベニュー (円) Unit Revenue (¥/ATK)	42.1	40.1	△ 4.7	38.1	△ 11.0
	重量あたり単価 (円/kg) Unit Price (¥/kg)	113	119	+ 4.9	115	△ 7.7

航空運送事業

国際貨物事業(事業動向)

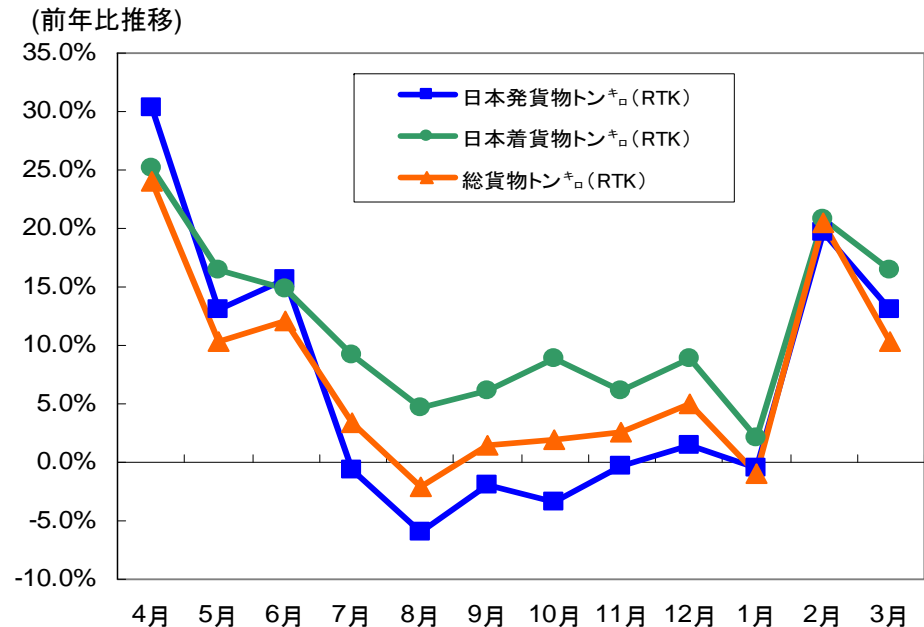
2011年度 収入増減要因

✓需要が低迷する中、三国間貨物の取り込みにより、重量を確保



月次 国際線 貨物推移

✓輸出貨物の荷動きが鈍化する中、第3四半期では前年割れとなるも、第4四半期において前年超過へと変化



当四半期 トピックス:

→ 1月からの燃油特別付加運賃改定 (12月19日付 リリース)

欧米・中東路線 127円→134円、遠距離アジア 91円→94円、近距離アジア 77円→79円

Ⅲ. 2013年3月期 通期業績予想《詳細》



2013年3月期 通期業績予想

連結業績予想

《参考》2012年2月17日
リリース分

	2011年度 FY11	2012年度 FY12(RE)	前年差 Difference	2012年度 経営計画時点予想 FY12(E)
営業収入 Operating Revenues	14,115	15,000	+ 884	15,000
営業費用 Operating Expenses	13,144	13,900	+ 755	13,900
営業利益 Operating Income	970	1,100	+ 129	1,100
営業利益率(%) Op. Margin (%)	6.9	7.3	+ 0.5	7.3
経常利益 Recurring Income	684	700	+ 15	700
当期純利益 Net Income	281	400	+ 118	400

単位: 億円 (¥100Million)

2013年3月期 通期業績予想

セグメント別業績予想

《参考》2012年2月17日
リリース分

		2011年度 FY11	2012年度 FY12(RE)	前年差 Difference	2012年度 経営計画時点予想 FY12(E)
売上高 Revenues	航空運送事業 Air Transportation	12,625	13,720	+ 1,094	13,640
	旅行事業 Travel Services	1,589	1,590	+ 0	1,550
	報告セグメント計 Total for Reporting Segments	14,215	15,310	+ 1,094	15,190
	その他 Other	1,384	1,370	△ 14	1,410
	調整額 Adjustment	△ 1,484	△ 1,680	△ 195	△ 1,600
	合計(連結) Total	14,115	15,000	+ 884	15,000
営業利益 Operating Income	航空運送事業 Air Transportation	884	1,020	+ 135	1,020
	旅行事業 Travel Services	39	40	+ 0	30
	報告セグメント計 Total for Reporting Segments	924	1,060	+ 135	1,050
	その他 Other	41	40	△ 1	50
	調整額 Adjustment	4	0	△ 4	0
	合計(連結) Total	970	1,100	+ 129	1,100

単位: 億円 (¥100Million)

Intentionally Blank

2013年3月期 通期業績予想

航空運送事業(収入・費用予想)

《参考》2012年2月17日
リリース分

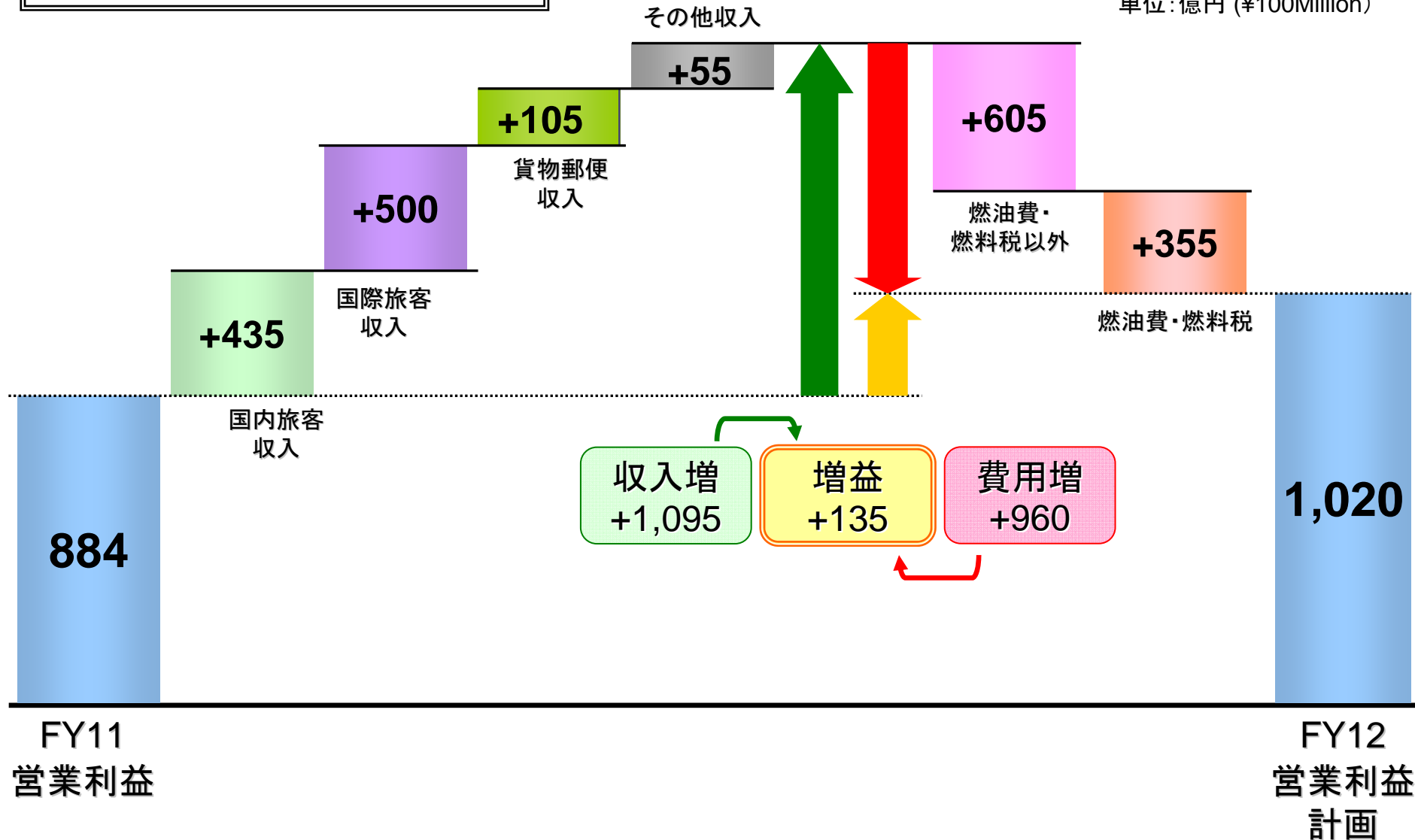
	2011年度 FY11	2012年度 FY12 (RE)	前年差 Difference	2012年度 経営計画時点予想 FY12(E)
営業収入 Operating Revenues	国内線旅客 Domestic Passengers	6,515	+ 434	6,950
	国際線旅客 International Passengers	3,200	+ 499	3,730
	貨物郵便 Cargo and Mail	1,280	+ 104	1,375
	その他 Others	1,628	+ 56	1,585
	合計 Total	12,625	13,720	+ 1,094
営業費用 Operating Expenses	燃油費及び、燃料税 Fuel and Fuel Tax	2,631	+ 353	2,855
	燃油費以外 Non – Fuel Cost	9,109	+ 605	9,765
	合計 Total	11,740	12,700	+ 959
営業利益	営業利益 Operating Income	884	+ 135	1,020

単位: 億円 (¥100Million)

2013年3月期 通期業績予想

航空運送事業(営業利益増減要因)

単位: 億円 (¥100Million)



2013年3月期 通期業績予想

《旅客事業》業績予想の前提値(対2011年度比較)

	国内旅客 Domestic Passengers			国際旅客 International Passengers		
	上期 1H(E)	下期 2H(E)	2012年度 FY12(RE)	上期 1H(E)	下期 2H(E)	2012年度 FY12(RE)
座席キロ Available Seat Km	+ 5.1	+ 3.1	+ 4.1	+ 9.7	+ 14.0	+ 11.9
旅客キロ Revenue Passenger Km	+ 9.9	+ 6.5	+ 8.2	+ 14.9	+ 10.8	+ 12.8
旅客数 Passengers	+ 10.2	+ 6.5	+ 8.3	+ 13.3	+ 12.2	+ 12.7
*座席利用率 (%) Load Factor (%)	62.8 (+ 2.8)	63.9 (+ 2.1)	63.3 (+ 2.4)	75.6 (+ 3.4)	73.1 (Δ 2.1)	74.3 (+ 0.6)
**ユニットレベニュー(円) Unit Revenue(¥/ASK)	11.8 (+ 2.1)	11.8 (+ 2.9)	11.8 (+ 2.5)	10.0 (+ 6.0)	9.3 (+ 0.9)	9.6 (+ 3.4)
**旅客イールド(円) Yield(¥/RPK)	18.8 (Δ 2.4)	18.4 (Δ 0.4)	18.6 (Δ 1.4)	13.2 (+ 1.2)	12.7 (+ 3.8)	12.9 (+ 2.6)
**単価(円) Unit Price(¥/Passenger)	16,614 (Δ 2.6)	16,281 (Δ 0.4)	16,448 (Δ 1.5)	57,656 (+ 2.6)	54,070 (+ 2.5)	55,810 (+ 2.6)

※AirAsia Japan含む

* (カッコ)内: 前年差

** (カッコ)内: 前年比

2013年3月期 通期業績予想

《貨物事業》 業績予想の前提値(対2011年度比較)

	国内貨物 Domestic Cargo			国際貨物 International Cargo			
	上期 1H(E)	下期 2H(E)	2012年度 FY12(RE)	上期 1H(E)	下期 2H(E)	2012年度 FY12(RE)	
全体 Total	有効貨物トンキロ Available Ton km	+11.1	+ 6.9	+ 9.0	+ 8.5	+ 10.4	+ 9.4
	有償貨物トンキロ Revenue Ton km	+ 1.8	+ 0.8	+ 1.3	+ 13.6	+ 18.9	+ 16.3
	貨物輸送重量 Revenue Ton	+ 1.9	+ 0.5	+ 1.2	+ 10.9	+ 15.9	+ 13.5
	重量利用率(%) Load Factor (%)	23.2	24.7	23.9	63.3	67.6	65.5
	**ユニットレベニュー(円) Unit Revenue(¥/ATK)	17.0 (△ 6.9)	18.2 (△ 2.2)	17.6 (△ 4.6)	23.1 (△ 8.2)	25.4 (+ 9.7)	24.3 (+ 0.6)
	**単価(円) Unit Price(¥/RT)	73 (+ 1.5)	73 (+ 4.1)	73 (+ 2.8)	146 (△ 10.3)	152 (+ 4.5)	150 (△ 3.1)
【参考: 上記内数】 フレイター Freighter	有効貨物トンキロ Available Ton km	△ 0.6	△ 3.9	△ 2.3	+ 5.4	+ 5.3	+ 5.4
	有償貨物トンキロ Revenue Ton km	△ 11.1	△ 7.9	△ 9.5	+ 13.5	+ 27.8	+ 21.0
	貨物輸送重量 Revenue Ton	△ 6.5	+ 1.2	△ 2.9	+ 9.9	+ 26.0	+ 18.2
	重量利用率(%) Load Factor (%)	32.9	33.4	33.1	62.8	74.8	69.0
	**ユニットレベニュー(円) Unit Revenue(¥/ATK)	47.2 (△ 2.0)	47.5 (+ 8.9)	47.4 (+ 3.3)	42.2 (+ 1.7)	47.9 (+ 23.3)	45.1 (+ 12.4)
	**単価(円) Unit Price(¥/RT)	137 (+ 4.2)	141 (+ 3.4)	139 (+ 3.9)	120 (△ 2.4)	118 (+ 3.0)	119 (+ 0.2)

2013年3月期 通期業績予想

連結バランスシート(計画)

《参考》2012年2月17日
リリース分

	2011年度末 Mar 31, 2012	2012年度末 Mar 31, 2013(RE)	前年度期末差 Difference	2012年度末 当初計画 FY12(E)
総資産 Assets	20,025	20,065	+ 39	20,030
自己資本 Shareholders' Equity	5,490	5,690	+ 199	5,620
自己資本比率 Ratio of Shareholders' Equity (%)	27.4	28.4	+ 0.9	28.0
有利子負債残高 Interest Bearing Debts *	9,637	9,300	△336	9,480
D/Eレシオ(倍) Debt/Equity Ratio (times) *	1.8	1.6	△ 0.1	1.7
ROA(%) Operating Return on Assets (%)	5.1	5.5	+ 0.5	5.6
ROE(%) Return on Equity (%)	5.3	7.2	+ 1.9	7.4

単位: 億円 (¥100Million)

* オフバランスリース債務額(D/Eレシオ)
2011年度末 1,553億円(2.0倍)、2012年度末予定 1,370億円(1.9倍)

2013年3月期 通期業績予想

連結キャッシュフロー(計画)

《参考》2012年2月17日

	2011年度 FY11	2012年度 FY12(RE)	前年差 Difference	リリース分 2012年度 当初計画 FY12(E)
当期純利益 Net Income	281	400	+ 118	400
減価償却費 Depreciation and Amortization	1,192	1,420	+ 227	1,420
リース元本相当額 Principal Payment for Aircraft Lease	141	140	△ 1	140
営業キャッシュフロー * Cash Flow from Operating Activities	2,285	2,335	+ 49	2,330
設備投融资額 Capital Expenditures & Lending	△ 2,037	△ 1,945	+ 92	△ 2,160
投資キャッシュフロー ** Cash Flow from Investing Activities	△ 1,615	△ 1,555	+ 60	△ 1,770
フリーキャッシュフロー Free Cash Flow	669	780	+ 110	560
財務キャッシュフロー * Cash Flow from Financing Activities	12	△ 620	△ 632	△ 380
EBITDA	2,162	2,520	+ 357	2,520
EBITDAマージン EBITDA Margin(%)	15.3	16.8	+ 1.5	16.8

単位: 億円 (¥100Million)

* 本表の営業キャッシュフロー、財務キャッシュフローには、オフバランスリース元本償還相当額を含む。

** 本表の投資キャッシュフローには、定期預金、譲渡性預金への預け入れ相当額は含まない。

IV. 補足資料

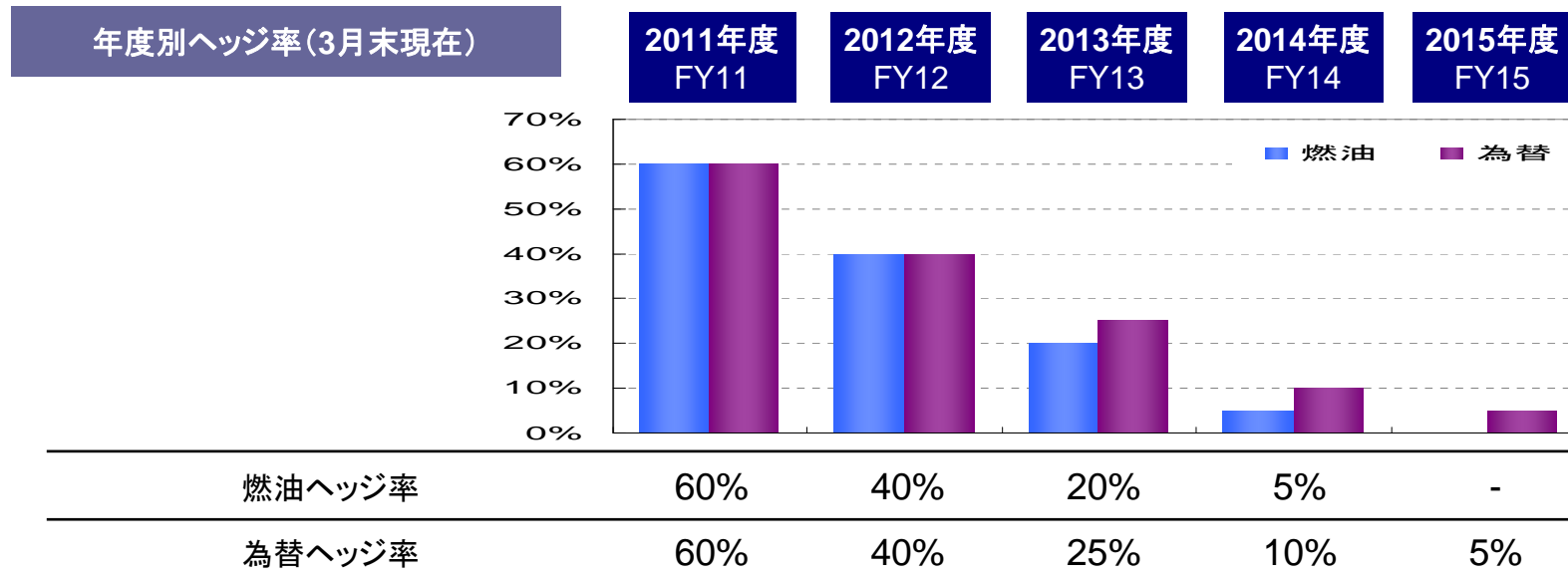


Intentionally Blank

補足資料

燃油・為替

実績と計画前提値	2011年度 FY11		2012年度 FY12	
	上期 1H(A)	下期 2H	上期 1H	下期 2H
ドバイ原油 Dubai Crude Oil (USD/BBL)	109	112	115	100
シンガポールケロシン Kerosene (USD/BBL)	128	128	130	120
為替レートExchange Rate (JPY/USD)	80	78	80	80



燃油費への感応度 (ヘッジしない場合)	原油 (1ドル/バレルの変動)	19億円/年
	為替 (1円/USDドルの変動)	25億円/年

補足資料

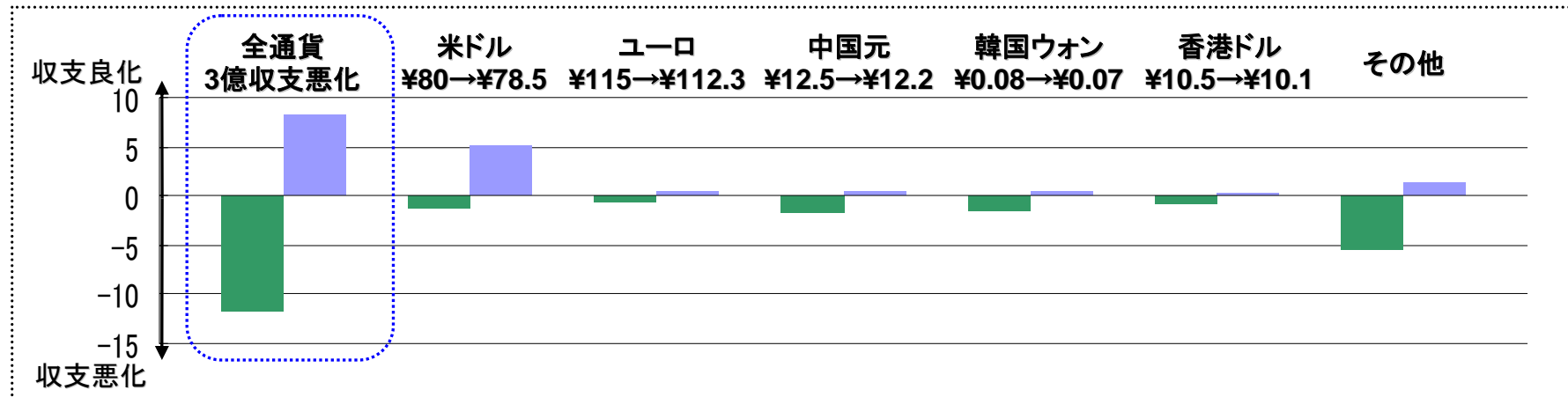
主要為替変動の収支影響

(営業損益ベース/ヘッジ効果込み、単位:億円)

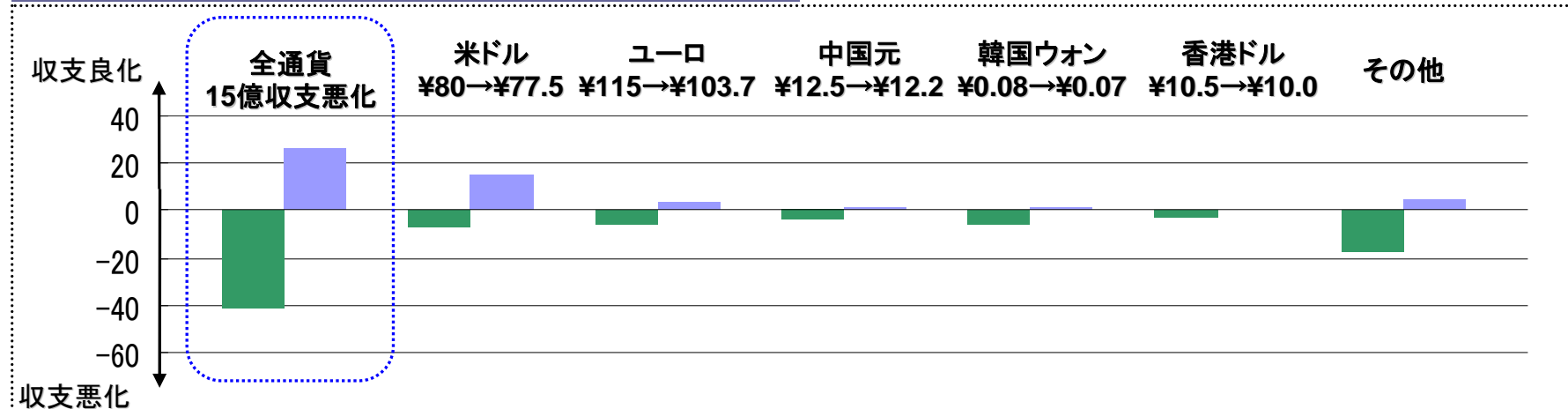
収入(増:+, 減:-)

費用(減:+, 増:-)

第2四半期実績 (7月29日付 業績予想 vs. 期間加重平均実績)



下期実績 (7月29日付 業績予想 vs. 期間加重平均実績)



補足資料

国際旅客 方面別実績

	2011年度 構成比 FY11 Composition	前年差 Difference	第4四半期 構成比 4Q/FY11 Composition	前年差 Difference	
旅客収入 Revenue	北米 North America	27.0	△ 0.4	27.0	+ 0.8
	欧州 Europe	19.4	△ 1.4	18.6	+ 0.9
	中国 China	25.3	△ 2.0	24.7	△ 1.1
	アジア Asia	23.3	+ 2.8	24.9	△ 0.4
	リゾート Resort	4.9	+ 1.0	4.8	△ 0.1
座席キロ ASK	北米 North America	29.2	△ 1.0	28.5	△ 1.6
	欧州 Europe	20.5	△ 1.6	21.7	+ 1.1
	中国 China	19.0	△ 1.3	19.5	+ 1.7
	アジア Asia	25.6	+ 3.5	24.8	△ 0.8
	リゾート Resort	5.8	+ 0.4	5.5	△ 0.4
旅客キロ RPK	北米 North America	30.0	△ 0.7	29.7	△ 0.7
	欧州 Europe	20.7	△ 1.7	21.2	+ 0.8
	中国 China	17.5	△ 0.8	17.3	+ 1.7
	アジア Asia	25.4	+ 2.8	25.7	△ 1.0
	リゾート Resort	6.4	+ 0.4	6.0	△ 0.8

補足資料

国際貨物 方面別実績

		2011年度 構成比 FY11 Composition	前年差 Difference	第4四半期 構成比 4Q/FY11 Composition	前年差 Difference
貨物収入 Revenue	北米 North America	20.8	△ 1.0	20.7	0.0
	欧州 Europe	16.1	△ 0.3	16.1	△ 0.7
	中国 China	35.7	△ 1.9	33.9	△ 2.8
	アジア Asia	20.7	+ 2.3	22.4	+ 1.5
	その他 Others	6.6	+ 1.0	6.8	+ 1.9
有効貨物トンキロ ATK	北米 North America	32.0	△ 1.1	31.6	△ 1.3
	欧州 Europe	22.5	+ 1.3	22.8	+ 0.9
	中国 China	20.1	△ 1.4	20.2	△ 0.4
	アジア Asia	21.1	+ 2.6	21.6	+ 1.7
	その他 Others	4.2	△ 1.4	3.7	△ 0.9
有償貨物トンキロ RTK	北米 North America	35.2	+ 0.7	36.0	+ 1.1
	欧州 Europe	25.5	+ 0.5	25.5	△ 0.3
	中国 China	17.0	△ 1.6	15.4	△ 1.8
	アジア Asia	17.8	+ 1.6	19.1	+ 1.8
	その他 Others	4.6	△ 1.1	4.0	△ 0.7



補足資料

運用航空機数	前年度末 Mar, 2011	当期末 Mar, 2012	増減 Change	保有機数 Owned	リース機数 Leased	
大型機 Wide-Body	Boeing 747-400 (International)	1	0	△ 1	0	0
	Boeing 747-400 (Domestic)	10	8	△ 2	8	0
	Boeing 777-300ER	19	19	—	16	3
	Boeing 777-300	7	7	—	7	0
	Boeing 777-200ER	7	7	—	4	3
	Boeing 777-200	16	16	—	14	2
中型機 Mid-Body	Boeing 787-8	0	6	+ 6	6	0
	Boeing 767-300ER	22	26	+ 4	7	19
	Boeing 767-300	32	31	△ 1	31	0
	Boeing 767-300F	3	2	△ 1	0	2
	Boeing 767-300BCF	7	7	—	7	0
小型機 Narrow-Body	Airbus A320-200 (International)	5	4	△ 1	0	4
	Airbus A320-200 (Domestic)	23	21	△ 2	21	0
	Boeing 737-800	15	17	+ 2	16	1
	Boeing 737-700ER	2	2	—	2	0
	Boeing 737-700	16	16	—	12	4
	Boeing 737-500	17	16	△ 1	9	7
リージョナル機 Regional	Bombardier DHC-8-400 (Q400)	15	18	+ 3	5	13
	Bombardier DHC-8-300 (Q300)	5	3	△ 2	1	2
合計 Total	222	226	+ 4	166	60	

免責事項

当資料は、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社の主要事業である航空運送事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証しているものではありません。

ANAグループの目指すもの

グループ経営理念

— 私たちのコミットメント —
 ANAグループは、「安心」と「信頼」を基礎に

- 価値ある時間と空間を創造します
- いつも身近な存在であり続けます
- 世界の人々に「夢」と「感動」を届けます

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である。
 私たちはお互いの理解と信頼のもと
 確かなしくみで安全を高めていきます

私たちは一人ひとりの責任ある
 誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、航空運送を中核に、
 世界の旅客・貨物輸送を担う、アジア
 を代表する企業グループを目指す。

アジアを代表するとは、

- ・クオリティで一番
- ・顧客満足で一番
- ・価値創造で一番

となることである。

ご清聴ありがとうございました。

Thank you.

当資料はホームページでもご覧いただけます。

This material is available on our website.

<http://www.ana.co.jp>

[日本語] IR情報 → IR資料室



全日本空輸株式会社 IR推進室

電話番号 03(6735)1030(代) メールアドレス ir@ana.co.jp